

試 験 報 告 書

試験名 : トップレディ ジャパンで実施している施術の効果について、尿を用いて研究した。

試験実施施設 : 株式会社 トップレディ ジャパン

試験期間 : 平成21年5月14日から平成21年6月22日

試験の目的 : 株式会社 トップレディ ジャパンで実施した施術の効果について尿を用いて検討した。

被験者 : 女性 7名 被験者に対して事前に、参加に同意を得た。

検体 : 施術実施前 及び 施術実施後の尿を採取した。

以下に、検体の状態を示した。

No.	店名	名前	年齢	採取日付	前	後	施術内容
1	桜台	■■■■■■■■■■	34	5月23日	○	○	お任せ 体 顔
2	石神井	■■■■■■■■■■	62	5月23日	○	○	お任せ 体 顔
3	石神井	■■■■■■■■■■	45	5月23日	○	○	お任せ 体 顔
4	石神井	■■■■■■■■■■	52	5月26日	○	○	お任せ 体 顔
5	石神井	■■■■■■■■■■	27	5月26日	○	○	体のみ
6	銀座	■■■■■■■■■■	31	5月21日	○	○	お任せ 体 顔
7	銀座	■■■■■■■■■■	42	5月29日	○	○	体のみ

検査項目 :

1) 8OHdG (8ヒドロキシデオキシグアノシン) : ELISA法により、日本老化制御研究所製のキットを用いて測定した。

結果

表1に示したように、施術後の尿中8OHdG量は、施術前に比較して減少していた。

施術前の尿中8OHdG量は、平均値で、33.4nMであった。これに対して施術後の尿中8OHdG量は、平均値で、21.0nMであり、施術前に比して、63%に低下した。この変化は、t検定により、危険率1%未満で有意な低下であった。

表 1 施術による8OHdG量の変化

検体	施術前 8OHdG (nM)	施術後 8OHdG (nM)
1	31.6	15.6
2	30.6	13.2
3	36.7	18.6
4	45.3	22.6
5	26.7	24.5
6	29.4	23.3
7	33.2	28.9
平均値	33.4	21.0
標準偏差	6.1	5.5
t 検定	-----	危険率 1%未満 有意差

考察

8OHdGとは、遺伝子の酸化により生じる酸化マーカーである。 遺伝子は常に酸化物質や紫外線による酸化や障害にさらされており、この障害により、8OHdGが産生され、遺伝子に変異する原因である。8OHdGが高いということは、遺伝子が障害されているという証拠である。 トップレディ ジャパンで実施している施術により、8OHdG量が有意に減少したという結果は、施術により遺伝子の酸化やDNAの障害が軽減されたと考えられる。結果として、この施術は障害や酸化から全身を守る有効な手段であると結論される。

